

「高齢者のQOL向上を目指す 生活セントリックデザインと 製品イノベーションの創出」 東工大・産総研 × JIDA コラボセミナー

概要

川崎市は、国立大学法人東京工業大学(以下、東工大)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、産総研)と連携して、模擬環境での福祉製品やサービスに関する安全性・性能・リスク要因などの評価や、実環境(高齢者施設等)での製品に関わる利用者等からのニーズの吸い上げ等を実施し、製品等の開発を行う企業へのフィードバックを行う事業を展開しています。

本セミナーは、当該事業の一環として、東工大・産総研のこれまでの研究知見と公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)の優れたデザイン力とのコラボレーションとして、高齢者の生活を中心に据えた製品デザイン(生活セントリックデザイン)の提案や福祉製品等のイノベーションを創出するための提案等を紹介します。

セミナーのトピックス紹介

1) 本事業の概要とウェルテックでの取組について

ウェルテックは、福祉施設を想定した「模擬環境ラボ」を備えた福祉製品・サービスの開発支援施設です。川崎市と国立大学法人東京工業大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所の三者が共同して運営を行い、福祉製品の開発・改良を行う市内の中小・ベンチャー企業を中心とした開発事業者を支援していきます。セミナーでは、ウェルテックの取組について発表します。

発表者：川崎市経済労働局イノベーション推進室



2) 生活セントリックデザイン実践のための取組みと事例紹介

研究では、生活セントリックデザインラボとしてIoT、人工知能、ビッグデータを活用し、生活状況をデザイン可能にする科学技術領域・パラダイムの創造を目指しています。研究機関、行政機関、リビングラボなどの多職種連携体制によって、子どもや高齢者の傷害予防、ロボティクスを活用した認知行動モデリングなどのテーマを社会インパクト駆動型で進めています。

セミナーでは、高齢者の実際の生活行動等から、そこに潜む問題や課題を発見し、その課題解決として高齢者の生活中心(セントリック)デザインの提案や必要性をこれまでの研究や知見を交えて発表します。

発表者：東京工業大学大学院教授 西田 佳史

3) 行動観察から、課題発見とアイデア創出を行う人間中心設計のデザイン事例

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)は、日本で唯一のプロフェッショナルなインダストリアルデザインの全国組織です。

インダストリアルデザインは、従来の量産を前提とした製品開発のみならず、人々の生活体験や価値創造へと展開し、「社会・経済の持続的発展」と「生活文化の向上」を使命として活動しています。

今回のセミナーでは、社会課題研究委員会が、ユーザーの行動観察から様々な課題を発見し、明快なアイデアへと展開させて商品開発に繋げていくデザイン事例を紹介します。

発表者：日本インダストリアルデザイン協会(JIDA) 社会課題研究委員会 中原 俊三郎



・開催日：2022年3月23日(水) 13:00~14:30

・開催方法：オンライン開催 (Zoomでの開催を予定)

・参加人数：制限なし

・参加費：無料

・申込：下記アドレス宛に、参加者名・メールアドレス・会社(団体)名・所属・連絡先電話番号を記載し送信をお願い致します。

メールアドレス info?kawasaki-weltech.com(?を@に修正して送信して下さい)

・問合せ先：上記メールアドレスをお願い致します。

※情報管理について

申込み等で知り得た情報は、適切に管理し、当該セミナー関連以外では利用致しません。また、本セミナー終了後、情報は破棄致します。

・主催：川崎市

・協力：国立大学法人東京工業大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所